

令和8年1月9日
国土交通大臣指定試験機関
一般財団法人全国建設研修センター

令和7年度 1級土木施工管理技術検定 「第二次検定」の合格者の発表について

令和7年10月5日(日)に実施した1級土木施工管理技術検定「第二次検定」合格者が決定し、
令和8年1月9日(金)に発表となりましたのでお知らせします。

当該技術検定は、建設業法第27条及び第27条の2の規定に基づいて、国土交通省から
試験機関として指定を受けている一般財団法人全国建設研修センター(理事長 上田 洋平)
が実施しています。

「第二次検定」の合格者は「1級土木施工管理技士」と称することができ、所定の手続きを行う
ことで国土交通大臣から第二次検定合格証明書が交付されます。

試験日	10月5日(日)
試験地	全国13地区 (32会場)
受検者数	24,667
合格者数	9,603
合格率	38.9%
合格基準	第二次検定の合格基準は、得点が60%以上を合格とする。

※詳細については別紙をご確認ください。

試験問題については、一般財団法人全国建設研修センターのホームページにて
公表しています。

公表期間:令和7年10月6日(月)から1年間

【お問い合わせ先】

土木試験課:042-300-6860

ホームページアドレス:<https://www.jctc.jp/>

● 別紙

当該技術検定を10月5日に実施。受検者数と合格者数、合格率は下記のとおり。なお、合格基準は得点が60%以上。

・令和7年度の受検者数は24,667人(内訳は、今年度の第一次検定合格の受検者数7,176人と、第二次検定のみの受検者数17,491人)。令和6年度の受検者数27,220人と比し、2,553人の減少。令和5年度の受検者数27,304人と比し、2,637人の減少。

・令和7年度の合格者数は9,603人(内訳は、今年度の第一次検定合格者数3,368人と、第二次検定のみの合格者数6,235人)。令和6年度の合格者数11,224人と比し、1,621人の減少。令和5年度の合格者数9,060人と比し、543人の増加。また、女性の合格者数は令和7年度1,009人、令和6年度1,143人と比し、134人減少。令和5年度920人と比し、89人増加。

・合格率は38.9%であり、令和6年度の合格率41.2%と比し、2.3%の減少。令和5年度の合格率は33.2%と比し、5.7%の増加。

なお、1級「第二次検定」の合格者は「1級土木施工管理技士」と称することができ、所定の手続きを行うことで国土交通大臣から第二次検定合格証明書が交付される。

1級土木施工管理技術検定第一次検定は、学歴にかかわらず19歳以上の者(4月1日に生まれた者も含む)が受検可能となっている。

今回、合格を発表した第二次検定は、旧受検資格の「学歴ごとに定められている卒業後の一定の実務経験を有する者」と、新受検資格の「学歴に関係なく第一次検定等合格後の一定の実務経験を有する者」が受検可能となっている(なお、令和10年度までは、第二次検定の旧受検資格での受検が可能となる経過措置が設けられている)。

試験実施状況及び合格者数について

試験地	受検者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)
札幌	1,070	439	41.0
釧路	207	71	34.3
青森	439	154	35.1
仙台	2,054	723	35.2
東京	6,727	2,831	42.1
新潟	928	325	35.0
名古屋	2,797	1,145	40.9
大阪	3,905	1,634	41.8
岡山	833	320	38.4
広島	935	365	39.0
高松	962	288	29.9
福岡	3,414	1,193	34.9
那覇	396	115	29.0
計	24,667	9,603	38.9

(参考 令和6年度)

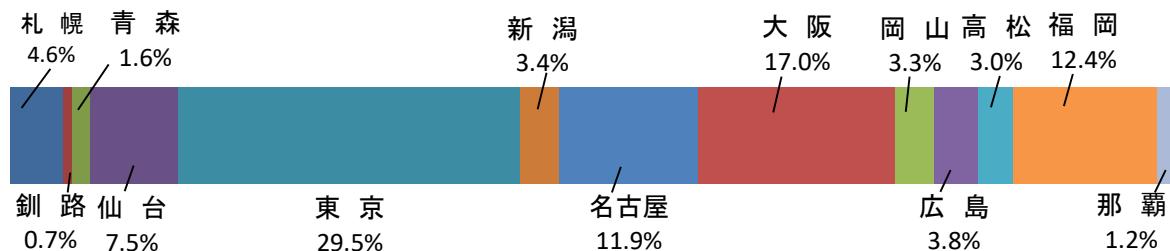
計	27,220	11,224	41.2
---	--------	--------	------

第二次検定合格者の属性

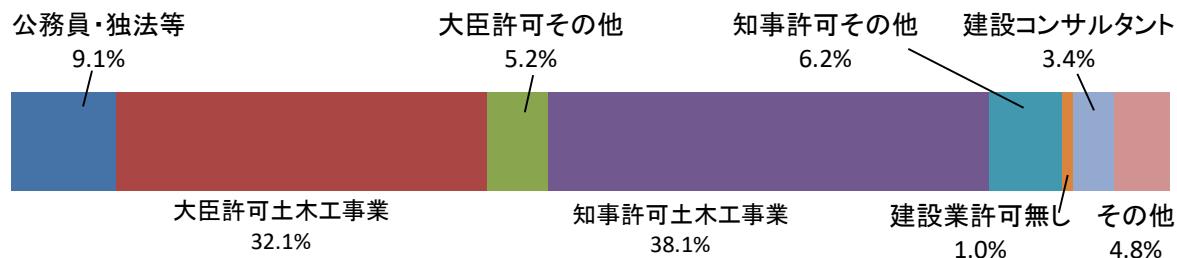
令和7年度 1級土木施工管理技術検定「第二次検定」の合格者の属性は以下のとおりです。

合格者数:9,603名

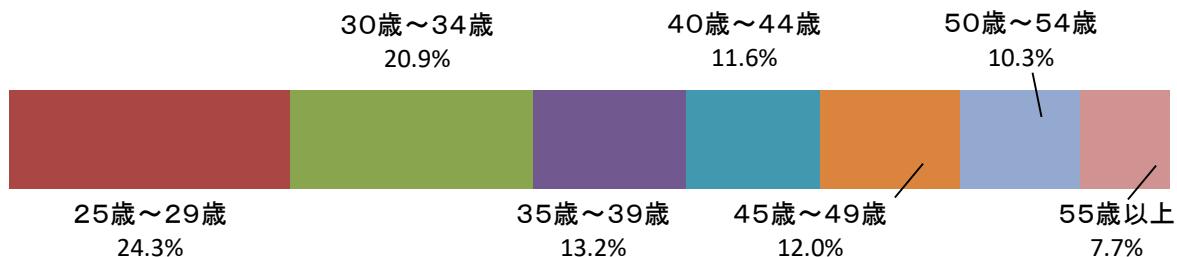
①試験地別



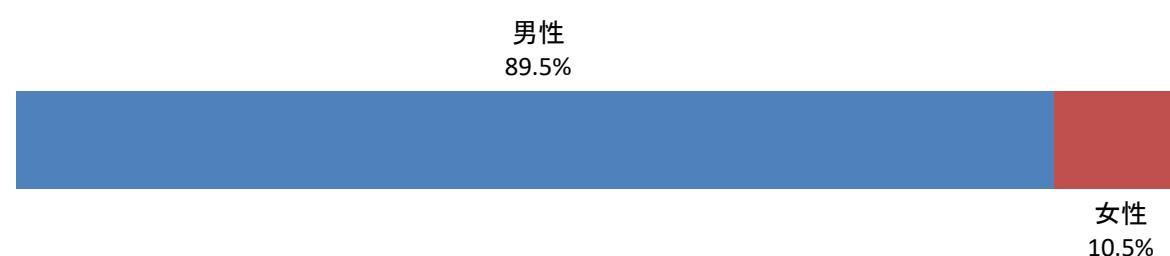
②勤務先別



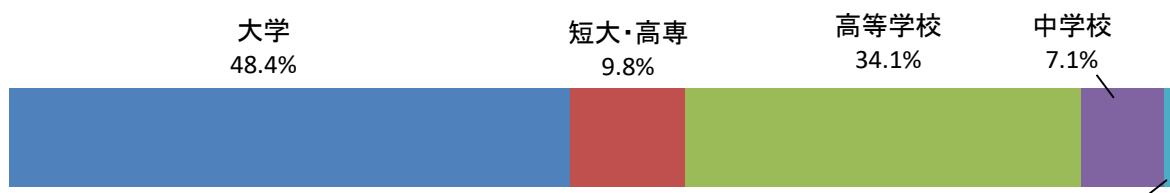
③年齢別



④男女別



⑤学歴別



※1級土木施工管理技術検定合格者のうち、
2級土木施工管理技術検定合格者が占める割合:51.1%